

## タウンミーティング 聴きたい、話したい まちのこと

日 時 平成28年7月16日（土）午前10時～11時30分

場 所 大原自治会館（大原自治会）

参加者 37人



### 主な意見等

参加者 災害時備蓄品は、大体何日分が1箇所保管されているのでしょうか。

市長 初動72時間が重要ということから、一日2食として、ふじみ野市で1日分、埼玉県で1日分、各家庭での備蓄や災害協定を締結している大型店等の拠出を仰いで1日分、合計3日分を確保することを想定しています。

なお、このあたりの首都近郊は支援を受けやすい状況にあるので、防災計画上、4日目以降は国が面倒を見ようということになっています。そこで埼玉県の考え方としては、なるべく過剰な備蓄は避け、その代わりに外からの支援を受けやすい体制、受援体制を確立しようという計画になっています。

参加者 熊本震災では、3日間では余震が収まらなかったという状況でしたが。

市長 3日間というのは一定期間ですので、缶詰のパンなど最小限のものをストックしておきながら、その間炊き出しの体制を整えたり、給食センターを活用したりしながら凌いでいきたいと考えています。

参加者 大原自治会の防災倉庫を現在イトーヨーカドーの敷地内に設置し

ていますが、2年後にイトーヨーカドーが撤退すると聞いているため、防災倉庫を置く場所を別に探さなければならないのではないかと心配です。

市長 イトーヨーカドーからは、撤退するという正式な話は聞いていません。

なお、イトーヨーカドーの斜め向かいの日本無線跡地に、イオンタウンが出店する予定があります。もともと用途が工業地域だった土地ですが、商業地域とするための都市計画の見直しが行われ、イオンからの申し出によりますと、来年秋頃オープンするとのことです。

ただ、大原自治会の防災倉庫については、私が市議会議員時代にヨーカドーに交渉して設置した経緯もありますので、万が一の時でも確保していきたいと考えています。

参加者 大原地区は道路幅が4mギリギリのところが多く、空き家も多い一方、建売も増えて若い世帯がたくさん住み始めています。私の自宅のそばにも住宅が建設されたのですが、隅切りがされませんでした。

市に確認しましたら、「隅切りの規定は県条例にはありません。建築基準法に則って建築確認を出しました」とのことでした。そこで、少しでも大型緊急車両等が入りやすくなるよう、現場の工務店と住民とで交渉し、本来は2mのところ、1mで隅切りを許可してもらったという事例がありました。

今後、地域の古い建物が建て替えされる時に、建て主に対し、市から隅切りを作るような行政指導はできないものでしょうか。

特に、建築が始まった時点で「隅切りは作らないのか？」と現場の人に聞いても、もう変更は利かない状況であることが多いので、図面上などの早い段階で調整をしてもらいたいです。

市長 大原地区や北野地区は、道路の整備が追いつかず、農道がそのまま道路となったようなところが多く残っていますので、緊急大型車両等が通行するためにも隅切りは大変重要です。

ただし、隅切りについては法的な規制がかけられないというのが現状であり、個人の財産のことなので今の法律上はなかなか難しい面があります。

そこで、事業主に対し市から協力をお願いをすることが出来るように努めていきたいと思います。

また、一定規模の開発であれば事業主と事前協議の場がありますが、1軒1軒の開発だとそういった場がないため、建て替えの情報が入った早い時点で調整ができるようにしたいと思います。

参加者 東京都では隅切りが規定されているようですので、埼玉県でも条例を制定してもらうことができませんか。

市長 微力ではありますが、市から県条例の制定を働きかけることは可能だと思います。

参加者 どういう想定で浄水場は2つでいいという判断になったのですか。

市長 1日の供給量をみて、2箇所で大丈夫だという判断をしました。  
そもそもふじみ野市の水は地下水と、荒川の水を県から購入しているものの2系統から供給しています。県の水は、みんなで使おうということで荒川浄水場なども負担しあっています。  
なお、福岡浄水場には井戸の方に発電機がないので、なんとかしたいと思っています。

参加者 大原地域は道路が狭いので、災害時に消防車が近くまで来られない時の消火活動が心配です。消火栓から直接つなげる、1機10万円程度のスタンド式ポンプを使って地域の人々が初期消火活動を行ったというニュースを見ましたが、そのようなスタンド式ポンプの設置はできないものでしょうか。

市長 そういった消火機材は徐々に増やしています。

参加者 自分の家が万が一の時、どうすればいいのかをシミュレーションができるような情報を提供してほしいです。

市長 火災の時は、最初に到着する消防車には水が積んであるので、最初はその車から水を取り、その間消火栓からホースをつなぐことに

なります。

ただ、災害時には、消防車が来ても水道栓が悪くて水が出ないということもありえます。どういう状況であるかは分かりません。

そこで、可能であれば、小型でもいいので各家庭に消火器を設置してもらうのが望ましいと考えています。実際は、災害が収まった後の通電火災が多いのです。火事をどう消すかよりも、火事をどう出さないようにするかが課題です。

参加者 市長さんが先ほど「火を出さないことが大切」と言われましたが、福島震災でもまさにそれが原点であったということ、ニュースで見ました。ペットボトルで各家庭が生活用水を備蓄したり、ブレーカーが自動に落ちるような器具を用意したり、道路が寸断されたりすることもあるので、家族の分くらいは人を頼る前に自衛ができるようにすることが大切のようです。

市長 福岡中央公園には耐震性の飲料水の貯水槽があります。生活用水については避難場所である小中学校に井戸があります。

皆さんの家庭でもお風呂の水のくみおきなど、循環型でストックをしていただきたいと思います。

参加者 リハビリを兼ねて運動教室に通っているが、トレーナーに愚弄されました。私の様子をあざ笑うだけで、指導もしてくれません。

それなのに、3年連続で同じ会社が落札しているようです。

市長 金額だけで業者を決めているわけではないと思いますので、後日確認します。

参加者 歩道の拡幅が途中で終わっているところがありますがなぜ一気に工事を施工しないのでしょうか。

市長 歩道拡幅については、地権者の同意が得られず、思うように工事が進まないという状況があります。

また上福岡駅の踏切のところは、県道ですので工事の実施は県ですが、交渉は市が行っています。

参加者 車を運転しながら道路について気がついたことを道路課によく通報するのですが、商店の人が道路上に看板を出すのは、道路幅が狭くなるため違反であるはずなので、道路課に頼んで伝えてもらいましたが改善されませんでした。せめて道路幅の狭いところだけでも、協力を得られないものかと提案したいです。

市長 ありがとうございます。防災はそういうところから始まると思います。